

容器包装プラスチックとは、中身（商品）を取り出したり、使い切った後に不用となるプラスチック製の「容器（入れもの）」や「包装（包み、袋）」をいいます。

## 容器包装プラスチック

- ・小分け豆腐や納豆を束ねるラベル
- ・卵パック
- ・冷凍食品、お菓子などの外袋
- ・白色、色付きの食品トレー
- ・シャンプーや洗剤などのボトル
- ・発泡スチロール（大きいものは割入れてください）
- ・ペットボトルのふた、ラベル など

## 燃えるごみに入れるもの

汚れが簡単に落ちないものは、そのまま燃えるごみに出していただいても大丈夫です

- ・納豆、カップ麺の容器
- ・マヨネーズやわさびの容器
- ・キャノーラ油や、オリーブオイルなど、食用油の容器
- ・カビが生えてしまったもの
- ・ポテトチップス、揚げせんべいなどの油ものが直接入った袋 など

## 容器包装プラスチックの出し方

## ①プラマークを探す

このマークが  
分別の目印



## ②水ですすぐ

## ③水を切り、乾かす

## ④資源ごみ回収へ

袋から出して、回収バッグに入れてください。レジ袋であれば、それも回収バッグに入れて大丈夫です。

ダンボールコンポスト  
無料モニター講習会

〈申込・問合せ〉  
耳納ねっと! ☎ 76-2077  
市民生活課 生活環境係  
☎ 75-4972

可燃ごみに含まれる水分の大半が生ごみ由来で、ごみ処理場の燃料代がかかる主な原因です。

そこで、生ごみの減量を目的とした「ダンボールコンポスト無料モニター講習会」を開催します。

企業の協賛金および市補助制度により、2回の講習（説明 / 品評会）を受講すると、ダンボールコンポストセット一式（通常 1,800 円）が無料になります。

## 講習会

3月16日（土）13:30～15:00

ダンボールコンポストの使い方の説明等

## 品評会

4月20日（土）13:30～15:00

生ごみ処理中のコンポストの状態を講師がチェック・アドバイス

定員 10名程度

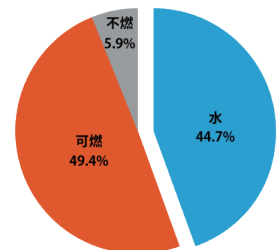
会場 再生工房（耳納クリーンステーション南側）

ダンボールコンポストとは・・・

自然界の微生物の働きを利用して、ダンボール箱の中で生ごみを堆肥に変えるものです。  
広い場所を必要としないため、ベランダなどに置いて生ごみを処理できます。

## メリット

- ①約3ヶ月間 生ごみを入れ続けることができます。
- ②生ごみ・食べ残し等の嫌な臭いに悩まされることがなくなります。
- ③できた堆肥は野菜や花のとても良い肥料になります。



可燃ゴミ袋の中身  
（令和4年度平均）



イメージ